

第3 窃盗被害防止対策

1 窃盗被害の認知状況と無施錠率

令和7年の窃盗被害の認知件数は6,365件で、前年に比べ113件の増加となりました。

本県における被害の特徴として、乗り物や建物に鍵をかけずに被害に遭うケースが多いことから、まず「鍵掛けの習慣を定着させること」が大切です。

【主な窃盗被害】（令和7年）

- 侵入盗（空き巣・忍込みなど）

731件（前年比-204件）

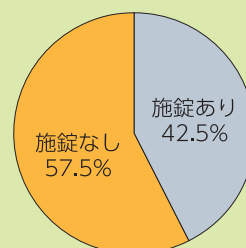
無施錠件数 420件

無施錠率 57.5%

全国 42.0%

全国ワースト 16位

侵入盗の無施錠率（県内）



- 乗物盗（自動車盗・オートバイ盗・自転車盗）

1,961件（前年比+284件）

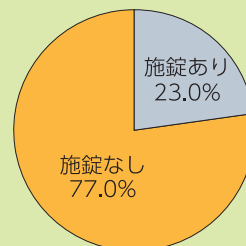
無施錠件数 1,510件

無施錠率 77.0%

全国 63.2%

全国ワースト 16位

乗物盗の無施錠率（県内）



- 非侵入盗（車上ねらい）

282件（前年比+54件）

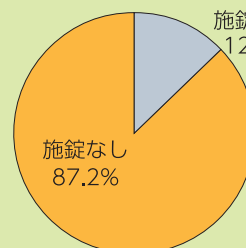
無施錠件数 246件

無施錠率 87.2%

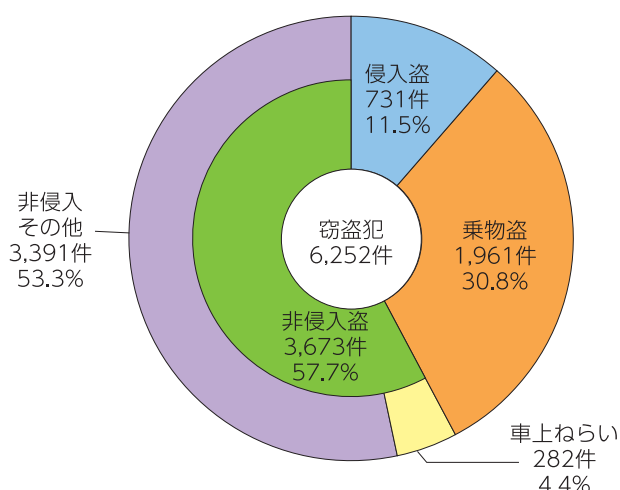
全国 73.7%

全国ワースト 11位

車上ねらいの無施錠率（県内）



手口別窃盗被害の認知状況



新潟県では、窃盗犯全体の

11.5%を侵入盗

30.8%を乗物盗

57.7%を非侵入盗

がそれぞれ占めました。

2 被害に遭わないために

犯罪者は 「簡単に入り込める」「人目につきにくい」 場所を狙っています



4原則以外にも、自分の家の周辺を確認してみよう!

- ハシゴや脚立など、足場となるような物を置いていない
- 塀や植栽は低く、見通しがよい
- 庭木や雑草の手入がなされ、ゴミなどの放置もなく、整理されている



うちは大丈夫! は危険! 鍵のかけ忘れも注意!

犯罪者が狙うのは、金品があるかどうかではなく、入りやすいかどうかです
鍵をかけたつもりで、かかっていない「かけ忘れ」による被害も発生しています
鍵かけ点検を毎日の習慣にしましょう!



地域で増やそう見守りの目

- 地域全体で犯罪者を寄せつけないよう「地域の安全は地域自ら守る」という意識を高めることが大切です
- 重要なのは、普段から地域のことに関心を持ち、一人ひとりが地域の変化にいち早く気付くことです
- 何か変わったことがあれば、地域で情報を共有する意識を持つだけでも、防犯力は高まります